

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

エントリー学校名： 北海道登別明日中等教育学校

活動名： 探究×キャリアデザイン ～自走できる生徒の育成を目指して～

解決すべき課題：

- 1 主体性を育てる…「自分でやりたい」「世界を変えたい」という芽はあるものの、受動的でリスクを避け、教員に依存する傾向。克服する力・諦めない力、メタ認知力・セルフマネジメント力を高める。生徒主導により「学ぶ意欲・行動力」を喚起する。
- 2 探究×キャリア教育…地域の素材・人材等を活用した体験的・探究的な学習はどの学校でも行われているところだが、どれも単発的なイベントで終わってしまうことが多い。カリキュラム・マネジメントの視点から「系統性」や「いかに生徒のキャリアにつなげていくか」をデザインする。

目標・方針： 活動内容1～3を実施することにより、解決すべき課題の改善・解決をめざす。

活動内容： ※本校は中等教育学校のため、後期生（高校生相当）：4～6回生と表記

- 1 地域をフィールドとした探究活動から「キャリアデザイン」を考える『AKB Future Project』を展開（図1）
 → 4回生：**L(ローカル)探究**～グループでの活動を原則とし、地域の課題を発見・設定し、解決に向けて調査活動やフィールドワーク、プレゼンテーション等を行っていく。
 5回生：**C(キャリア)探究**～個人での活動を原則とし、身近な地域や日本全体あるいは世界が抱える諸課題について自ら課題を設定し、解決に向けた調査・実験・フィールドワーク、外部への提言や働きかけなどを行っていく。
 6回生：**学びのプロジェクト**～「L探究」や「C探究」での成果を踏まえ、志望理由のプレゼンテーション（動画作成）を行う。生徒主体による学習会等を企画・運営させる。
- 2 『進路のしおり』に本校教育がめざす資質・能力、6年間の進路シラバス（キャリア教育計画）を掲載して見える化し、生徒が自己評価・ポートフォリオとして活用できるようにする。（図2 a～c）
- 3 「PDCA サイクル」「タイムマネジメント」の視点を意識させて活動を計画・実行させ、適宜振り返りを行うことで積極的に修正・改善を加えさせていき、生徒自身のマネジメント力を向上させる。（図3）

活動の成果：

- 1 探究活動を通して「現代社会に対する課題意識が高まった」生徒 → 肯定的回答：88%
- 2 探究活動を通して「主体的に（自分事として）取り組むことができた」生徒 → 肯定的回答：95%
- 3 探究活動が「キャリアデザインの形成にプラスの影響をもたらした」生徒 → 肯定的回答：71%
- 4 学びのプロジェクトを通して「進路実現へのモチベーションが高まった」生徒 → 肯定的回答：88%
- 5 学びのプロジェクトを通して「今後やるべき課題について明確化できた」生徒 → 肯定的回答：75%
- 6 「PDCA サイクル」「タイムマネジメント」などを意識するようになった生徒 → 肯定的回答：96%
- 7 校外で主体的・発展的活動（ボランティア、地域貢献等）をしたことがある生徒 → 全体の59%

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- 1 「生徒が自走・教員は伴走」…生徒の自立を促すことで、教員の負担軽減（働き方改革）につながる。
- 2 「生徒が動く→学校が変わる」…生徒が提言することで、学校改善・地域の活性化につながる。
- 3 「カリマネに生徒自身も参画！」…生徒自身による学びの改善、「PDCA サイクル」等の生徒への普及。

図1 「AKB Future Project」構造図 ※AKB（校名「あけび」の略号）

図2 『進路のしおり』の工夫
 a 本校がめざす資質・能力

b 6年間のキャリア教育計画

図3 マネジメントの視点を意識付けるワークシートの工夫

夏休みの目標シート 第一志望：関西外大 外国語学部

大目標：英語極める！ 25:00 D, 6:00 Q, 13h/d ↑ (勉強)

日 程	具体的行動計画 (単元名など細かく)	緊急性高	緊急性低
8月8日(土)	練習、ボキャ@、q-art、Vintage、英語書法	q-art 志望理由書	通読
8月9日(日)	*ボキャ@、q-art、Vintage、通読、V-PEX	Vintage 英語2次対策	B1英文(1次)
8月10日(月)	ボキャ@、q-art、通読、英語、大望@、英	英語2次対策	V-PEX
8月11日(火)	ボキャ@、q-art、通読、大望@、BBP@、英	大望@	BBP@
8月12日(水)	ボキャ@、q-art、通読、大望@、Vintage	大望@	Vintage
8月13日(木)	ボキャ@、q-art、通読、大望@、Vintage	大望@	Vintage
8月14日(金)	ボキャ@、q-art、通読、大望@、Vintage	大望@	Vintage
8月15日(土)	練習		
8月16日(日)	模試		
8月17日(月)	練習		

図4 「探究活動」から「キャリアデザイン」へとつながっていった例（一部）

○「日本一の道の駅を作る」をテーマに探究し、登別市役所でプレゼンを行ったり、各種会議に参加したりする。B級グルメ開発などを行う。「マイプロ2019全国大会」に出場。→ 観光学部への進学を志望

○「人の悩みに寄り添う」をテーマに学校・地域でワークショップを自ら企画・開催する。→ 人文学部（社会心理学等）への進学を志望

○「多様性・LGBT・マイノリティ」をテーマに研究し、海外留学や様々な会議・WS等へ参加。→ 国際経営・文化学部への進学を志望

○「子どもの孤食」をテーマに子ども食堂などへの取材・ボランティア等を行い、行政への提言も行う。→ 環境人間学科への進学を志望